



きれいな学校 輝く笑顔 ～J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)～

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関 2 8 2

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

服装の乱れは心の乱れ 「一事が万事、人は見た目が大事」

校長 新井 敬二郎

あなたの服装は、乱れていませんか。

今回は制服の着こなしについて話をしたいと思います。男子の中には制服の第一ボタンをわざと開け、ワイシャツをダラ～ッと出しているものがあります。女子の中にはスカートの丈が短くなっているものもあります。また、靴下や下履きは白色が原則なのに蛍光色などのシューズで登校しているものも数名います。学校の校則(生徒手帳)を知らないわけではないと思います。おそらく自分のいいように勝手に解釈して意図的にやっているのでしょう。

そもそも制服とは何でしょうか。辞典には…「制服とは学校・会社など、一定の集団や団体に属する人が着るように定められている服装のこと。ユニホーム。職業柄から、工場で働く人、医者・看護師、パイロット・CA、警察官等々さまざまなものがある」制服を着用することは、その学校、会社を代表することであり、たった一人の「着こなし」で汚名が注がれることもあります。みなさんが制服で登校するということは、家では「子ども」で何を着用しても自由ですが、登校する時は制服を着ることで「子ども」から「生徒」へと変わるのです。公と私の区別をつけることが大切です。みなさんは、大久保中の生徒として自覚を持ち、しっかりとした着こなしで「大久保中学校ブランド」を創ってほしいのです。

過去に冬季オリンピック男子ハーフパイプ選手による「服装の乱れ(腰パン)」がマスコミで大きく取り上げられ、国民的な話題になったことが記憶にある人もいるでしょう。その時、初めは「服装の乱れ」だったのが、やがて「言葉の乱れ」や「態度の悪さ」へとドンドン話がエスカレートしました。最終的には、記者会見場での「反省してま～す」と語尾を伸ばした発言で、国民の輿意(ひんしゆく)を買いました。人は見た目が大事なのです。

竹内一郎氏の著書『やっぱり見た目が9割』によると、人の第一印象は0.5秒で決まると言います。私たちは直感的に、「この人は優しい」「信用できる」と判断しているそうです。言われてみれば確かにそうかも…。実際のところ、ヒトも野生動物と考えれば、目の前に現れたヒトが、敵か味方かを一瞬で見抜かなければ、自分の命が危ないのですから、生きていくために必要な能力なのでしょう。あなたの服装は乱れていませんか。

「育てたように子は育つ」

さまざまな生き物は、周囲の環境の影響を強く受けながら成長していきます。人間も例外ではありません。

「ヒトは良き環境の中でひとになる」と言います。「ヒト」には生物学的な意味合いがあり、「ひと」とは人間という意味です。人は環境によって教育されるということでしょう。

環境には親や教師、友だちなど人的な環境と、教科書や参考書、机、黒板、掲示板など物的な環境があります。そして、それらが醸し出す雰囲気や空気のような目に見えないものも環境を構成しています。これらの中でも特に重要なのは人的な環境です。子どもは周囲にいる大人をモデルにして成長していきます。家庭においては家族が重要な役割を果たしています。

アメリカのダニエル・ゴーマンは『EQ-こころの知能指数』の中で「(親の)暴力的な性格は次の世代にも伝わるらしく、彼らの子どもたちもやはり親と同じように小学校で暴力問題を起こした」と報告しています。

ハツカネズミに騒音を聞かせながら育てたら、そのハツカネズミはストレスを蓄積したのか、胃潰瘍になってしまったと言います。また、畜舎の中で乳牛にモーツァルトの名曲を聞かせたら、乳をたくさん出すようになったということを知ったことがあります。いずれも、良き環境と健全な育ちとは深くかかわっていることを示している事例です。

相田みつをは、かつて「育てたように子は育つ」と言いました。子どもの成長に直接かかわっている大人の役目を改めて確認したいものです。

ぶんけい「教育の小径」より

大久保地区小・中一貫教育目指す児童生徒像 「ふるさとを愛し 志高く生きる 心優しい大久保の子ども」